福岡発！　アジア進出企業

経営トップに聞く

日本の経済停滞や欧州の経済不安の中でも成長を続けるアジア地域。大企業がこぞって生産拠点を求めたその地も、今は市場として注目される。大企業では既に市場開拓に乗り出しているが中堅中小企業が海外に乗り出すのは容易ではない。しかし距離が近い福岡ではアジア進出の機運が高まっている。先進的にアジア進出に挑戦している経営トップに進出に対する思いを聞いた。

関家具　関（せき）　文彦（ふみひこ）社長

工芸製品を売り込む

―現状を聞かせて下さい。

「一般家庭用家具を中心にビジネスを展開している。一般にこの分野は縮小、低迷していると見られがち。ところがマーケットサイズはホームユースだけでも年間1兆2000億円という大きさがある。今期のグループ売り上げが100億円程度のわが社にとっては大きなマーケット。前途洋々だと確信している。ホームユースにオフィスユース、ホテルやレストランなどのビジネスユース、医療関係などの家具を加えると2兆400億円という大きなマーケットが存在する。今後はこれら分野にも勇気を持ってチャレンジしたいと思っている」

「販売チャンネルにも変化が見られる。昔ながらの小規模家具店だけでなく量販店や雑貨店に近いインテリアショップ、通信販売業者とも取引しているが小規模家具店は厳しいようだ。チャンネル別に売れ筋商品は異なり、また常に変化もしている。当社は企画開発から製造、卸、小売りまで一貫して手がけているのが特徴。そのノウハウを持って取引業者のサポートに力を入れている」

―海外市場をどのようにとらえていますか。

「旺盛な家具需要があると見ている。その中でも市場として期待し、販売拡大を目指しているのは中国。世界中から集めた樹齢100年以上の銘木から取った一枚板を使い、テーブルなどを製品化して売り込む考えだ」

「そのために数メートルにもなる大きさの板を高品質に乾燥させたり加工したりする技術は簡単にまねできないため国際的にも競争力がある。家具のポイントは素材、デザイン、作りだがどれも自信を持っている。まずは銘木製品でブランドを確立する。その後にソファ、ダイニング用家具、ベッドなども市場に出していきたい」

―中国進出の戦略を教えて下さい。

「家具にはさまざまな素材が使われ、企画開発から製品化までを1社で手がけるのは難しい。しかし歴史ある家具産地の大川には木材や金具、ガラスなどの素材をはじめ、加工についてもスペシャリストがそろっているため開発がしやすい。当社はそのコーディネートに取り組んでいく」

「コーディネート能力の基本となるのは優秀な人材だ。昔から採用と人材育成には力を入れており、優秀ならば家具に関する経験を問わずに採用している。ポイントは仕事を任せること。責任を取るのは社長だ。日本製の家具は今後も競争力を持っていると思っている。ホスピタリティーなど従来の家具にはない発想も日本の家具の海外進出に生かせるはずだ。当社のモノづくりに関して言えば工業製品でなく工芸製品に近いものを市場に出していく」

銘木一枚板のテーブル

【企業メモ】
▷所在地＝福岡県大川市幡保98の7、0944・88・3515▷社長＝関文彦氏▷従業員＝215人▷資本金＝1億4000万円▷売上高＝約91億円（12年5月期）▷URL＝www.sekikagu.co.jp/

筑水キャニコム　包行（かねゆき）　均（ひとし）会長

現地語でニーズつかむ

―現在の市場動向はいかがですか。

「国内では東日本大震災直後に急激に落ち込んだ需要は回復している。最悪期には前年同月比の売り上げが70％減という月もあった。今は土木建築現場で使われる運搬車などの引き合いが特に強い。被災地では当社の製品がレンタルでも使われているほかアタッチメントは自分の所で取り付けるのでクローラー部分だけでも欲しいという注文もある。復興需要は今後5年は緩やかに続くと見込んでいる」

「草刈り機も角度45度の急斜面に対応した製品など当社が得意とする過酷な環境で使えるものの売れ行きが好調だ。一般向けの四輪電動バイク『おでかけですカー』はバッテリーの能力を高めることで長時間走る業務用でも使えないかとの開発の要望も来ている」

―海外市場、特にアジア市場をどう位置付けていますか。

「海外市場は厳しい日本市場とは違い、努力すればするだけプラスになるような感覚だ。欧州向けは堅調な状態が続いており、米国向けは一時期の低迷から脱した。米国では建設現場向け運搬車が売れており、当社が得意とする狭い道でも操作しやすいタイプが受け入れられている。今後大きく伸びるのは海外のみだと見ており、事業の中心は海外になりそうだ。現在37カ国に輸出しているが2015年には100カ国との取引を目指している」

「アジアでは運搬車が農業で使われており、アブラヤシなどの農産物や肥料などの運搬に活躍している。走行条件が悪い場所に適しているクローラータイプの人気が高い。中国で生産しているが賃金が安いからという位置づけでなく市場に近く、関税や諸手続きの面で日本から作って送るよりも有利だからだ」

―アジア攻略での課題はなんでしょう。

「マーケティングだ。そのために昨年はフィリピンに事務所を開設。今後タイにも開く予定だ。特に農業は同じ国でも地域によって土地の状態や気候、栽培されているものは違い、当社の製品で売れるものも違う」

―その課題に対しての取り組みは。

「現地のニーズをつかむのは現地の言葉でなければならない。その土地で使われている中でのユーザーの悩みを吸い上げることが重要だ。英語で本音を聞くことは難しいだろう」

「そのため近年は留学生の採用を増やしている。今では当社グループ300人の従業員のうち90人が外国人となっている。製品開発についてはスピードアップが課題だ。当社の製品は十分速いと思っているがスピードアップで作業時間を短くしたいとの要望が多くなっている。そのためには安全に止まれる仕組みの開発がポイントになるだろう」

一般向け四輪電動バイク
「おでかけですカー」

【企業メモ】
▷所在地＝福岡県うきは市吉井町福益90の1、0943・75・2195▷社長＝包行義郎氏▷従業員＝233人▷資本金＝3億4740万円▷売上高＝約49億円（12年3月期）▷URL＝www.canycom.jp/

第18回 中国国際家具展覧会（上海）に出展！
期間：2012年9月11日～15日 → http://www.furniture-china.cn/
会場：上海新国際博覧センター
上海市浦東新区龍陽路2345号
日本の技術と日本有数の家具産地 大川の職人技と気質、世界中から集められた美しい銘木達との共演。
関家具は、リーディングカンパニーを目指し、家具産地 大川から日本全国はもとより、世界を目指し羽ばたきます。
お問い合わせ先：メール info@sekikagu.co.jp または、右記の電話番号まで。
SEKI FURNITURE Co., LTD.
OKAWA DESIGN MUSEUM
CRASH
OKAWA FURNITURE ROAD
株式会社 関家具
福岡本社 福岡県大川市幡保 201-1
0944-88-3515　0944-87-3258

●サーフィンマンタ55
（上下に55度の範囲で路面のうねりや斜面を自動追従）
●スライドエレベータ
（刈高さ電動スライド装置）

●ワンタッチ刈刃スライド
（レバーひとつで、左に200mm刈刃がスライド）
●左右の刈刃が上下に
路面のうねりを自動追従

ものづくりは演歌だ
株式会社 筑水キャニコム
本社　福岡県うきは市吉井町福益90－1　TEL:0943-75-2195
http://www.canycom.jp/